

歴史紹介

MATSUZAKAYA
UENO
250th
ANNIVERSARY
— おかげさまで250周年 —

1768年 1856年 1907年 1917年 1923年
1929年 1957年 1967年 2007年 2017年 2018年



1768年 上野の松坂屋を買収、江戸へ進出

名古屋の伊藤屋が上野の松坂屋を買収して「いとう松坂屋」と改め、江戸へ進出したのは1768（明和5）年のことです。



1856年 安政大地震後再建の上野店

尾張徳川家、加賀前田家の御用をつとめ、東叡山諸寺の法衣を独占販売するなど世間の信望も厚く、江戸の名所として浮世絵にも描かれました。

寛永寺



1907年 座売りから陳列式立売りへ

1907(明治40)年4月1日、江戸時代から続いた座売りを陳列式立売りに改め、呉服に加え雑貨、家庭用品なども扱い始めました。ショーウィンドーを巡らし、女性社員を初めて採用したのもこの年です。



1917年 新本館が完成

1916(大正5)年に、洋風4階建ての新本館が竣工しました。翌1917(大正6)年に第2期工事が完成して、延べ6,600㎡(2,000坪)になった店舗は、帝都の名建築の一つに数えられました。



1923年 震災から復興

上野店は、1923（大正12）年9月1日の関東大震災の翌日に類焼、灰燼に帰しました。ただちに再建に取りかかり、1ヵ月後に仮営業所、2ヵ月後には仮店舗を立ち上げました（このとき初めて土足入場を実施）。



1929年 本館を新築

1929（昭和4）年に建築したルネサンス風の荘厳華麗な新館は、上野広小路の都市風景をも一変させたといわれました。電話に民間初の自動交換機を採用するなど、設備も時代の最先端を行くものでした。



1957年 南館を増築

1957(昭和32)年に南館を増築。
この地下3階、地上7階の画期的な
増床で、売場面積は本館と合わせ
て、35,000㎡に達しました。



1967年 上野店200周年

「いとう松坂屋」となってから200
年という節目の年。高度成長第2段
階の「いざなぎ景気」の中で開催
した記念催事「ルノワール展」
(主催：毎日新聞社)はとりわけ
好評で、約15万人の入場客を集め
ました。



2007年 上野店全館改装 グランドオープン

2007(平成19)年、
「Reconnection (リコネクション)」をテーマにリニューアル。
上野の街全体の活性化に貢献するため、地域との新しい関係を築こうというテーマを端的に表すキャラクターとして、上野を象徴する「桜」と「パンダ」を組み合わせた「さくらパンダ」が誕生しました。

工場



2017年 南館跡地に上野フロンティアタワーが完成

2017(平成29)年11月、上野御徒町に「パルコヤ」「TOHOシネマズ」が仲間入り。「シタマチ・フロント」としての街開きとなりました。



2018年 4月5日

おかげさまで250周年。これまで
も、そしてこれからも。

© Daikoku Matsuzakaya Department Store Co., Ltd. All Rights Reserved